

ジュニア賞

人生100年時代の「生涯レース」

門倉 春樹 (小学6年生：東京都)

家から駅までがゴールです。

0歳、10歳、20歳・・・と100歳まで同じコースをプレイします。

10年毎、毎年、毎月、毎日のどれかを選んで遊ぶ事ができます。

最初はベビーカーだったり抱っこで動けない中でいっぱい情報を集めたり、泣くのを我慢したり、ウンチやおしっこを我慢するか出してスッキリするか選んだりします。

10歳は親に聞きながらゴールを目指して20歳～50歳は急いだり、寄り道したり、忘れ物を取りに行き、時間制限やミッションとかあります。落ちこんでいる日や行きたくない日もあります。友だちが出来たり、家族ができたり、途中で保育園によったり、家から駅に向かう様子がどんどん変わります。何歳かで病気になったり、アクシデントもあります。

60歳で目が見えなくなってきたり、体力ゲージが減って真っ直ぐあるけなくなってきたり、50歳くらいでついた病気の影響が大きくなったりします。

70歳とかで杖とかの道具が持てるようになって

80歳でサポーターを選べる様になって

90歳でも色々な目標や目的を持って駅に向かいます。

100歳で駅に着いたらゴールです。

人に頼るところから、人に感謝して終わるゲームです。

人生の喜びを考えたり、自分の健康に興味を

持ったり、恥も失敗もいっぱいしたいです。

僕は毎日学校に行きます。

僕が小学生として小学校に行くのは1年で終わりです。

小学校に毎日行くのが毎日同じ事が続いているように感じていましたが1年生の時も、2年生の時も毎日違ってきます。

同じ道でも毎日自分が変わってて違う事が起こっているという発見ができるゲームです。

「自分の人生を大切に生きる！」

これに気づかせてくれるゲームです。

自分の事を大切に出来たら、未来の自分も、過去の自分も、自分の周りの人も自分の環境も全部大切にできる。

恥をかいたり、失敗しても人生を楽しんでほしいです。

何回もやってほしいです。